

2014年7月10日

No. 00001

Subject : 2014年インドネシア大統領選挙関連基本情報

Category : インドネシア、政治

No. of Pages : 2

本レポートのご利用にあたってはページ下段にある注意事項をお読みになり、ご理解いただいた上でお願いします。

2014年7月9日は5年に一度の大統領選が行われた。大統領は約1億9千万人の有権者による直接選挙で選ばれる。インドネシアの大統領は第5代までの大統領と副大統領は「国民協議会」の決議によって選出されていたが2004年に直接選挙制が導入され、第6代大統領（スシロ・バンバン・ユドヨノ）が現在とほぼ同じ手順で選ばれている。大統領選挙に先立ち、2014年4月9日には、国会議員などを選出する総選挙が行われ、その結果の獲得議席数により大統領候補者を擁立できる。（下記参照）7月9日に行われた大統領選挙の投票結果速報では、立候補者2名の投票獲得率は拮抗しており、7月下旬に予定されている正式発表が待たれる。

【大統領選挙制度】

大統領は1期5年連続2期までで3選は禁じられているため、2004年から2期10年間大統領を務めた現ユドヨノ大統領は今回の選挙に立候補できない。大統領と副大統領はペアで立候補する。

所属政党が異なっても組み合わせは可能。また、大統領が政党に所属していれば副大統領は無所属でも可能。

同じ年に行われる総選挙で国会の20%以上の議席か25%以上の票を得た政党もしくは政党連合が正副大統領を擁立できる。

【インドネシアの選挙権】

インドネシア国籍を持つ満17歳以上のすべての男女、または既婚者に一人一票与えられる。

【歴代大統領】

	氏名	就任 退任	期間	政党
初代	スカルノ Sukarno	1945.8.18 1867.3.12	20年7ヶ月	無所属
第2代	スハルト Suharto	1967.3.12 1998.5.21	30年2ヶ月	ゴルカル党
第3代	バハルディン・ユスフ・ハビビ Bacharuddin Jusuf Habibie	1998.5.21 1999.10.20	1年5ヶ月	ゴルガル党
第4代	アブドゥルラフマン・ハヒド Abdurrahman Wahid	1999.10.20 2001.7.23	1年9ヶ月	国民角覚醒党
第5代	メガワティ・スティアワティ・スカルノプトゥリ Megawati Setiawati Sukarnoputri	2001.7.23 2004.10.20	3年3ヶ月	闘争民主党
第6代	スシロ・バンバン・ユドヨノ Sushilo Bambang Yudhoyono	2004.10.20 2009.10(予定)	10年	民主党

※2004年の第6代大統領から現在の国民による直接選挙による選出されている。それまでは国民議会により選出されていた。

注：本レポートは公表されている情報を中心にまとめたものであり、基礎的な情報として取り扱っていただくことを目的としてご用意しております。内容についての正確性については最大限の注意を払っておりますが、たとえ記載事項の間違い等でご利用者が損害を被ったとしても、当社はそれを補償するものではありません。あくまでもご利用者ご自身の責任においてご活用ください。



【2014年大統領選挙 立候補者情報】

氏名(年齢)	ジョコ・ウィドド (Joko Widodo) (53)	プラボウォ・スビアント (Prabowo Subianto) (62)
アピールポイント	庶民派・対話・脱エリート政治	強い指導力
経歴	大工と専業主婦の子。家具輸出業からソロ市長に転身し、2012年からジャカルタ特別州知事。	有名な経済学者の子。元陸軍幹部。スハルト体制後は軍籍を剥奪されて海外に亡命していた。グリンドラ党を創設。今年の総選挙ではグリンドラ党が躍進
ウィークポイント	国政未経験。州知事の途中退任についての批判もある。	軍当時、活動家誘拐など人権侵害を首謀したとされている。
支持政党の議席占有率	37% (野党中心)	63% (現在の与党中心)
支持率 (7月上旬投票前)	47.8%	44.2%
陣営実力者	メガワティ元大統領 ソフィアン氏(経営者協会代表。華僑系)	シティ氏(スハルト元大統領の娘。前妻) エディ氏(ユドヨノ大統領の次男。民主党幹部)
支持層	貧困層、学生、キリスト教系、華僑、女性、中・初等教育	高学歴、エリート層、イスラム教系、男性、高等教育
個人資産	2億4千万円	150億円
(施政方針)		
国民生活向上	2019年までに貧困率を半減 貧困層向け医療・教育無料カード	1人当たりの国民所得を倍増 村落に10億ルピア直接支払
インフラ開発	港湾・空港・工業団地を各10カ所新設	3千キロメートル超の道路や鉄道建設
財政改善	燃料補助金を段階的に削減 政府業務の電子化で効率化	燃料補助金を3年で最大半減 徴税強化で開発予算補てん
外貨との関係	国内銀行への外銀出資制限	資源開発は富の地元還元を重視

(情報源：読売新聞 2014年7月4日、日本経済新聞 2014年7月5日)

【投票結果(7月9日時点の開票速報)】

氏名(年齢)	ジョコ・ウィドド (Joko Widodo) (53)	プラボウォ・スビアント (Prabowo Subianto) (62)
民間調査会社LSI	53.37%	46.63%
地元有力紙コンパス	53%	47%

7月9日の投票終了後、開票速報の結果を受け、両陣営が勝利宣言をしている。
開票結果の正式な発表は7月21日～22日の予定。

以上

注：本レポートは公表されている情報を中心にまとめたものであり、基礎的な情報として取り扱っていただくことを目的としてご用意しております。内容についての正確性については最大限の注意を払っておりますが、たとえ記載事項の間違い等でご利用者が損害を被ったとしても、当社はそれを補償するものではありません。あくまでもご利用者ご自身の責任においてご活用ください。

